

活動名称 (40字以内)	フル・インクルーシブ教育を実践する公立小学校でのゲスト・ティーチャー体験		
団体名等	教育学研究科 バリアフリー教育研究開発センター		
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		15 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生。 子どもとかわかるとが好きな人、インクルーシブ教育について深く考えてみたい人を歓迎します。		
活動期間	2019/9/2(月) ~ 2019/9/13(金) 12 日間	主な活動場所	大阪市立大空小学校 (大阪市住吉区)
目的	「障害」の有無にかかわらず、すべての子どもが一緒に学ぶ「フル・インクルーシブ教育」について、「ゲストティーチャー」の立場で学習することを目的とします。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>2016年障害者差別解消法の施行により、日本の公立学校は、「障害」の有無にかかわらず、すべての子どもが共に学ぶ、「フルインクルーシブ教育」へと転換することが求められています。しかし、現実には、特別支援学校や特別支援学級の在籍者は年々増加し、学ぶ場を隔てる状況が拡大しています。</p> <p>そのような中で、大阪市立大空小学校は、2006年の開校以来、「障害」も一つの個性とみなし、すべての子どもが共に学びあうことを重視した教育を展開してきました。その教育については早くからメディアによって注目され、朝日新聞での一ヶ月にわたる連載、関西テレビでの一年間にわたるドキュメンタリーの取材などが行われてきました。関西テレビの取材は、後に映画「みんなの学校」として公開されました。この映画は文部科学省の講堂でも上映されるなど高い関心を集め、現在に至るまで全国各地で1000回以上の自主上映が行われてきました。また、愛知県名古屋市では大空小学校に学んで市内の小中学校を「フル・インクルージョン」へと転換させるための研究を開始するなど、他地域の教育行政からも注目を集めています。</p> <p>大空小学校自体は、「フル・インクルーシブ教育」を提唱しているわけではありませんが、今回の主催団体であるバリアフリー教育開発研究センターでは、すべての時間をすべての子どもが共に学ぶことを重視する大空小学校を、日本における「フル・インクルーシブ教育」の先駆的実践校として注目し、2017年に大空小学校との教育研究協定を締結しました。</p> <p>「共に学ぶ」こと、「共に生きること」は、往々にして美辞麗句として語られがちです。ただし、すべての子どもが共に学ぶ空間をつくることは容易なことではありません。子どもたちは一人一人様々な個性があり、同時に様々な背景を背負って学校にやってきます。そのような子どもたちが集まれば、当然、様々な衝突が起こります。また、「特別な支援を必要とする子ども」が常に「障害」を背負った子どもであるとは限りません。そのときどきで、「支援を必要とする子ども」は変わります。大空小学校の教職員は、「チーム」で子どもたちを複数の目で見つめ、情報を共有し、そのときどきに最も「しんどい子」に丁寧にかかわり、そして子ども同士の相互理解を深めるためにどんな手立てが必要かを臨機応変に判断して行動しています。また、教職員だけでなく、地域の大人たちが多数学校にかかわり、複数の目で子どもたちを支えています。</p> <p>今回の体験活動では、以上のような大空小学校の日常を外側から観察するだけでなく、実際に教室に入り、「ゲスト・ティーチャー」として子どもにかかわるなかで、「共に学ぶ」空間を支えている理念やそのための具体的な方法について実地に学びます。「お客様」としてではなく、大空小学校の一員として一緒に学校をつくる体験をしてもらうために、2週間という長期の体験活動を準備しました。2週間の中で「共に学ぶ」「共に生きる」空間をつくることの難しさやその可能性により深く触れてもらいたいと考えています。学生の立場を活かして子どもの目線になって、子どもと心から遊んだり話し込んだりしてみてください。他方で、大空小の先生方や地域の大人たちの喜びや生きがいはどこにあるのかなどについても感じ取ってみてください。それらの活動の中で、「共に学ぶ」ことの意味についてより深く考えてもらうことを期待しています。</p> <p>体験活動に含まれる内容：オリエンテーション(大空小学校の概要について、2週間の過ごし方について)、様々な学年でのゲスト・ティーチャー体験、子どもと一緒に心から遊ぶ体験、大空小学校の教職員や地域の大人たちとの懇談(随時)、日々の振り返り(参加者同士で行います)など。</p>		
備考	<p>原則として、現地集合、現地解散。</p> <p>宿泊については、「FOR LEAVES INN 長居」のシングルルームを予定しています。</p> <p>参加費用の交通費は、東京-新大阪-長居間の新幹線と私鉄の往復額を想定して記載しています。</p> <p>体験活動の冒頭2~3日間は、バリアフリー教育開発研究センターのスタッフが同行し、参加者がスムーズに体験活動を開始できるようにサポートする。</p>		
参加するための費用 [※]	交通費	約30000 円	その他 [※] 特記事項は以下に記載 学部・教職課程の履修の有無は問いません。
	宿泊費 (シーツ代) (食費) 計	38,500 円(予定) 円 実費 円 68,500 円	
	奨励金額		35,000 円
ウェブサイト等	<ul style="list-style-type: none"> ・大空小学校のHP http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e731673 ・大空小学校を取り上げたドキュメンタリー映画「みんなの学校」 http://minna-movie.jp/ ・教育学部附属バリアフリー教育開発研究センター http://www.p.u-tokyo.ac.jp/cbfe/ 		